

急斜面きゅうしやめんの大きな崖や、小さな滝のイロンネウシリが向こう岸に見えています。バンケキナウシ、バンケキナウシのふたつの小川はともに空知岳そくちだけに源があります。

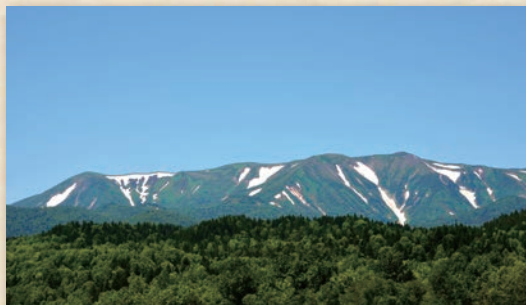
山はますます険しくなり、川には奇岩きがんや怪岩かいせき、そして滝もところどころにあり、その景色は実に素晴らしいものがあります。ピシカチナイ川の源は然別岳しかりべつだけにあるといえます。400トルメーほど先のニヘシヨチという小川は鮭も時々ここまでは上ってきますが、ここから先へは上らないといえます。ここまで来たら早くも夕方になったのでここで野宿することになりました。ここより上について聞いたことを次に書き記しておきましょう。

小川のバンケベツ、バンケベツの東岸にあるチカツベキツチという小川の西岸にはチカシトクとそれに並行するようにトンラウシの滝があります。この辺りは両岸が切り立った岩山で、それはまるで鬼が斧で削ったかと思えるような光景こうけいだといえます。樹木はすべてモミやカバなどばかりで、それは足の踏み入れる隙間すきまもないほどに繁っているといえます。しばらく上ると、川が二股ふたまたに分か

れる場所に到着し、ここから右の方はトウヌカルシといつて川底が平らな岩の川で、その水源は然別岳の後ろにある常呂ところの山から来ているのだといえます。左はシノマントカチといつてすべての支流しりゅうは大岩山のヲフラテシキの間を通過して、十勝の山から来ているといえます。西は石狩岳いしかりだけ、東はウペペサンケ岳があり、その山の向こう側がわはトコロの川筋の源にあたります。実にこの山々は蝦夷地えぞちの母山と言わなければならないでしょう。その翌日はシユン克蘭の家に泊まりました。

3月13日

どこか物寂ものさびしい音を立てている小雨の中、茅かやの草原を下



石狩岳

北海道の中央部にある標高ひょうこう 1,967メートルの山。石狩川の水源であることから名付けられた。